

みんなの手でつくった みんなのまつり

～笑顔いっぱい倉吉の夏～

倉吉の夏のにぎわい、第28回倉吉打吹まつりが、8月7(土)・8日(日)の2日間にわたり、開催されました。

今年は、「みんなの手でつくる みんなのまつり」をテーマに多くの高校生が参加してくれたボランティアなどに支えられ、2日間で、約10万人が真夏のまつりに酔いしれました。



にぎわいステージ



飛天WASSO



みつほし踊り



打吹天女コンテスト



女みこし



第28回
倉吉
打吹まつり



じげRock2004

3on3大会IN倉吉



小学生金管バンド



児童WASSO



牛鬼



屋台



飛天WASSO



志海新聞社



大鼓ステージ

(株) セイコ製作所倉吉第二工場



七月二十七日(火)、市役所において、株式会社セイコ製作所(本社・大阪市住吉区御崎二丁目、水谷憲彦社長)の常務取締役・水谷重憲さんと倉吉工場長・浅井昭彦さんが、秋喜にある倉吉工場に次いで、西倉吉工業団地内に、平成十七年一月の総業開始を目指して倉吉第二工場建設を発表しました。

セイコ製作所は、マーキングペン製造業で、その製品のほとんどをアジア、中近東、

中南米に輸出されており、今回の第二工場の建設は、海外からの受注増に伴い、カナダからマーキングペンの生産ラインを購入し生産・販売体制の強化を図るためのもので、

倉吉第二工場は、約三千㎡の敷地に、インク工場を伴う鉄骨一部二階建て約七百五十㎡の工場を新築します。

生産ライン一基を備え、投資額は約三億円で、年間一千万本〜一千五百万本のサイン

ペンを生産、年商二億円を目指します。平成十九年度には、生産ラインを二基に増設する計画です。工場の増設に伴い、新規現地雇用者は十人が予定され、平成十九年には、さらに十人が新規雇用の予定です。

部落解放研究第32回倉吉市集会

部落の完全解放と人権の確立を全市民の手で

部落解放研究倉吉市集会は今年で32回を数え、部落解放への研究と実践を積み上げながらさまざまな人権問題への取り組みを推進してきました。

差別の現実学び、現存するあらゆる差別をなくするための道筋を一緒に考えてみませんか。

とき 8月29日(日)全体会 9:30~11:30 / 分科会 12:30~15:30

ところ 全体会 倉吉未来中心大ホール / 分科会 倉吉交流プラザ視聴覚ホールほか各会場

テーマ 部落の完全解放と人権の確立を全市民の手で

午前の部(全体会) 手話通訳を行います。

9:00	9:30	10:00	11:30	12:30
受付	開会行事	倉吉市部落解放・人権問題講演会 講師 橋本智洋さん (部落出身教職員連絡会) テーマ 「ふるさとに生まれ ふるさとに生きる」		休憩

午後の部(分科会)

12:30 15:30

分科会	テーマ	内 容		会 場
1	就学前・学校教育と進路保障	第1分科会	子どもに確かな人権感覚と豊かな感性を育てるために、保育所・幼稚園、小学校での同和教育について話し合います。	倉吉交流プラザ視聴覚ホール(150人)
		第2分科会	子どもに確かな人権感覚と豊かな感性を育てるために中学校、高等学校での同和教育について話し合います。	倉吉未来中心セミナールーム3(180人)
2	地域・組織活動	私たちの身近な町内学習や保護者会・PTA活動の取り組みについて話し合います。		倉吉未来中心セミナールーム1(56人)
3	就労と職場	公平で公正な採用に向けた取り組みと職場内での同和教育研修について話し合います。		倉吉未来中心セミナールーム7(42人)
4	男女共同参画	女性の人権が守られ、性別にとらわれない社会参画のあり方を話し合います。		倉吉交流プラザ第1研修室(60人)
5	あらゆる差別の解消	差別の現実学び、差別をなくするための具体的な実践と行政の取り組みについて話し合います。 【パネルディスカッション】		倉吉未来中心小ホール(310人)

託児所を開設します。1歳以上就学前の幼児で託児を希望される方は、8月19日(木)までに下記へ

問い合わせ先: 部落解放研究第32回倉吉市集会実行委員会事務局 人権政策課 (☎22-4891/☎22-4901)